



県ホームページ (<https://www.pref.yamagata.jp/325001/kensei/joho/koho/news.html>) でも公開中!

令和2年10月5日発行 発行元 / 山形県置賜総合支庁 No.172

置賜地域は最上川をはじめ、豊かな水源に恵まれ、基幹作物である米の他、果樹などの園芸作物も盛んに生産されており、果樹王国やまがたの中でも有数の産地です。

さて、置賜地域では、各地域の気候や地形を活かして様々な種類の果樹が生産されていますが、その中でも最も生産量が多いかものはなんのでしょうか？

クイズで知ろう!

### 特集

## 主要地方道米沢飯豊線「中津川橋」通行止め 知事視察



8月30日(日)に吉村知事が、ケーブルの損傷発見により、8月28日(金)から全面通行止めを行っている飯豊町小坂地内の主要地方道米沢飯豊線「中津川橋」の現場を視察しました。

橋を管理する県の担当者から橋の損傷状況の説明を受けたのち、飯豊町長と川西町長から橋の早期復旧と迂回路の安全確保について要望を受けました。

県では、専門家にも相談しながら一日も早い橋の復旧を目指すとともに、迂回路についても安全に通行できるよう取り組んでまいります。



■西置賜道路計画課 電話0238-88-8228

## 【トピックス】 置賜地域の経営者に向けて知事が県政運営方針を講演



9月16日(水)、企業経営者などを会員とする米沢・置賜経済人クラブの9月例会がホテルMontビュー米沢で開催され、吉村知事が「令和2年度の県政運営について」と題して講演を行いました。

知事は、「7月豪雨被害への緊急対応、新型コロナウイルス感染症への取組みを進めている中ではあるが、中長期的な視点に立って、県民の皆様と共に県づくりに取り組んでいくことが重要。特に、新型コロナウイルス感染症を受けた情勢変化への対応として、感染防止と経済活動の両立、医療提供体制の強化などが求められている。さらに、ポストコロナを見据え、加速が見込まれる地方分散型の産業構造への転換など、早急を実施していく必要がある。」と述べるとともに、第4次山形県総合発展計画に基づく具体的な取組みについて、説明を行いました。



■総務課 企画調整担当 電話0238-26-6006

## 事業報告

### 「おきたま元気創造ラボ」第1回コアメンバー会議を開催

8月5日（水）に、「おきたま元気創造ラボ（おきラボ）」の今年度1回目のコアメンバー会議を開催しました。

おきラボは、置賜の魅力を再発見し、磨き上げ、発信するため、地域の若者と県や市町村の若手職員が一緒になって活動しています。4年目の「おきラボ」は、地域おこし協力隊など新たなメンバーが多数加わり、フレッシュな体制で置賜を更に元気に、そしてその魅力を発信していきます。

これまで新型コロナウイルス感染拡大防止のため非対面でのオンライン顔合わせ会やアンケートなどでメンバーから事前にアイデア等を伺ってきましたが、今回、十分な感染防止対策を取ったうえで会議を開催し、今年度事業の方向性や具体的なアイデアについて話し合いました。今後は、会議で決定した柱立て（右のとおり）や出された様々なアイデアをもとに、具体的な取組みの検討を進めていきます。



#### <R2事業の柱立て>

- ①置賜の魅力の発見・発信
- ②若者の交流拡大・地域活動の活性化

・「おきたま元気創造ラボ」のフェイスブック

<https://www.facebook.com/okitamalabo/>



・「おきたま元気創造ラボ」のInstagram

<https://www.instagram.com/okilabgram/>



■総務課連携支援室

電話 0238-26-6021

### 令和2年度 山形県知恵袋委員会(置賜地域)を開催



8月26日（水）に、「令和2年度山形県知恵袋委員会（置賜地域）」を置賜総合支庁講堂で開催しました。

はじめに委嘱状交付式がオンラインで行われ、吉村知事から、「県民の皆様との対話をこれまで以上に大切に、アフターコロナを見据えて県政運営に取り組むことが重要。地域をより良くするために、この知恵袋委員会でたくさんのご意見をいただきたい。」とあいさつがあり、その後モニター越しに委員の皆さんの名前を読み上げました。

意見交換では渡辺総合支庁長が座長となり、経験豊富な6名の置賜地域の委員から意見を伺いました。新型コロナウイルスを克服するための方策について、「行政には正確な情報の発信とともに、感染者を見守ったり励ましたりすることの大切さも発信してほしい。」などの

声が寄せられ、その他にも観光や畜産など各分野の状況を踏まえた意見が出されました。

今回いただいたご意見については、今後の施策を展開する上で参考にしていきます。

■総務課企画調整担当 電話 0238-26-6100

### 「山形県新型コロナ対策応援金」寄付者への感謝状贈呈

山形県では、新型コロナ感染症対応のため医療現場で活躍する医療従事者や感染拡大により影響を受けた方々などを支援するため募金を募っています。

このたび、大口の寄付をいただいた22企業・団体・個人に知事感謝状を贈呈しました。置賜地域からは、那須建設(株)様、ハイメカ(株)様、日栄電機(株)様の3企業に贈呈しています。



■総務課防災安全室 電話0238-26-6007

## ～地域の食材で地域の人と繋がる食プロジェクト～

### 大学生による食の魅力発信事業「okirakuキッチン」



大学生が置賜地域の「農と食」に出会い、その魅力を発信する「okirakuキッチン」が今年度もスタートしました。活動内容はメンバーが意見を出し合って決定し、これまで、直売所訪問やオンライン料理教室などを行っています。活動にあたっては、新型コロナウイルスの感染予防に配慮しながら、生産者や料理人など、食に関わる方との交流を大切にしています。

活動の様子や、メンバーが感じたこと、置賜地域の魅力などをInstagramで発信しています。ぜひご覧ください。



🍎🍷🍷 okirakuキッチンInstagram 🍷🍎

■ 農業振興課 生産流通担当 電話0238-26-6051

## 親子で食農体験！「えだまめ もいで、じんだん つくろう」を開催しました！

9月12日（土）、置賜地域の小学校低学年までの子ども達とその保護者を対象にした食農体験推進事業を高島町内で開催し、9組19名の親子がえだまめの収穫とじんだん調理を体験しました。

開催直前まで雨が心配されましたが、当日は晴れ間が広がり活動日和となり、収穫体験では元気いっぱい、両手いっぱいにえだまめをもぎ取り、調理体験では力いっぱいにえだまめを擦りつぶし、おいしいじんだんを作りました。子ども達からは「莢とりが楽しい」「すり鉢を初めて使った」「自分で作ったじんだんは美味しい」などの声が聞かれ、充実した表情を見せてくれました。

今回の活動が、子ども達の「食と農」への感謝の気持ちが深まるきっかけになることを願っています。



■ 農業振興課 生産流通担当  
電話0238-26-6051

## 賞品数は167本！「おきたま食の銘店めぐりスタンプラリー」実施中！



### スタンプを集めて おきたまの農と食を応援しよう！

「おきたま食の応援団」グリーンフラッグ店を利用し、スタンプを集めると、抽選で素敵な賞品が当たる「おきたま食の銘店めぐりスタンプラリー」を実施中です！今年は「米沢牛賞」を設け、米沢牛の賞品数を拡充しています。ぜひスタンプラリーに参加し、みんなで「おきたまの農と食」を応援しましょう！

#### スタンプラリー概要

##### ■ 期間

令和2年9月12日(土)～令和3年1月11日(月・祝日)

##### ■ 応募方法

期間中、スタンプラリー参加店を利用して、リーフレット付属の応募ハガキに異なるお店のスタンプを集めてご応募ください。

スタンプを4個集めれば応募可能となり、さらに置賜を周遊すると賞品がランクアップ！

※応募締切 令和3年1月15日（金）当日消印有効

#### 素敵な賞品を準備中！

基本となるA賞～C賞（5千円～千円相当）＋米沢牛賞（1万円～3千円相当）に加え、さらに豪華なS賞やSS賞も準備します。



※写真は賞品のイメージです

- 道の駅米沢の「まちナビカード」やSNSによる応募も可能です。詳しくは、「おきたま食の応援団」ホームページ又は参加店舗等に備え付けの専用リーフレットをご覧ください。

おきたま食の応援団

検索



■「おきたま食の応援団」（事務局：農業振興課）

電話0238-26-6051

## おうちで食べて米沢牛を応援！キャンペーン実施中！

新型コロナウイルスの影響で需要が落ち込んでいる米沢牛の消費拡大を図るため、米沢牛を購入いただいた方に抽選で豪華賞品が当たるキャンペーンを実施します。



- 期間：10月1日(木)～11月30日(月)
- 対象商品：米沢牛（精肉）3,000円（税込）以上
- 対象者：期間中にキャンペーン参加店で対象商品をお買い上げいただいたお客様
- 応募方法：専用の応募はがきに必要事項を記入の上ご応募ください。3,000円ごとに一口応募が可能です。（お一人様何口でも応募可能です。）
- 賞品：米沢牛、つや姫・雪若丸セット、ラ・フランス 合計300名様
- 応募締切：12月4日（金）（当日消印有効）



詳しくは「おきたま食の応援団」ホームページをご覧ください。

<https://yamagata-okitama-shoku.net/>

※写真は賞品のイメージです

■農業振興課 生産流通担当 電話0238-26-6051

## お知らせ

### 10月15日～10月21日は 「精神保健福祉普及運動週間」です

ストレスが多い現代社会では、誰もが心に不調をきたす可能性があります。

心に不調を抱える人も、そうでない人も、共に理解し助け合える社会でありたいものです。この機会に、ご自身や周りの人の心の健康を振り返ってみませんか。

もしも、気分が落ち込んでいる方がいたら、ひとりで悩まず、ぜひご相談ください。置賜保健所では随時心の健康相談を受け付けております。



山形県  
「心の健康づくり」  
シンボルマーク

■地域保健福祉課 精神保健福祉担当  
電話0238-22-3015

### 10月は「がん検診推進強化月間」です

がんは、日本において昭和56年より死因の第1位となり、2人に1人が“がん”になり、3人に1人が“がん”で亡くなっています。皆さんが、がん検診を受けることで、がんによる死亡を今よりも減らすことができます。がん検診についての詳細は、お住まいの市町または職場の健康管理担当までお問い合わせください。

また、**10月18日（日）は、子宮頸がん・乳がん検診の県内一斉休日検診日です。**仕事や家庭、子どものことで忙しく、自分のことは後回しになりがちな女性の皆さん、この機会にがん検診を受けましょう！

#### <休日検診の申込み・問合せ先>

- 米沢市在住で国保・後期高齢者医療の方  
米沢市健康課 0238-24-8181
- 米沢市在住で上記以外の方  
米沢検診センター 0238-21-8811
- 米沢市以外の市町在住の方  
南陽検診センター 0238-43-6303

■保健企画課 健康長寿推進担当 電話0238-22-3004

## クイズで知ろう！の答え



### A. ぶどう

置賜地域で最も生産量が多いくだもの種類は「ぶどう」です。

ぶどうは県全体でも全国3位の生産量を誇り、県内では高島町が生産量No.1です。置賜地域では多くのぶどうの品種が栽培されていますが、最も多く生産されている品種は「デラウェア」です。最近では種無しで皮ごと食べられる「シャインマスカット」の栽培も増えており、人気を集めています。また、置賜地域はワイナリーも多く、最近ではぶどう生産者がワイン用ぶどうの栽培を始めたり、ワイナリー自らワイン用ぶどうの生産を行うなど、生産拡大の取組みも行われています。